

大内中学校図書館だより

ときめき図書館

令和 7 年

2月号

立春を過ぎると、寒いと言いながらも徐々に日が長くなり、陽ざしに春の香りを感ずるところとなります。3年生は残り少ない中学校生活となりましたね。大内中の図書館で心に残る本に出会えることを願っています。着実に時は過ぎていきます。1、2年生も「今」というこのひとときを大事にしながら過ごしてください。

(学校司書 藤井美紀)



1月大好評でした！ 返却したら 運試し☆おみくじ！

例年冬休み前に借りた本の返却がなかなか進まないのでもちろんとしたお楽しみを準備しました。



本を返却した人には、新年の運勢を占ってもらいました。おすすめの本の分類番号も記載してありました。新しい本との出会いがありましたか？

2月 如月 きさらぎ

由来：衣更着とも書き、暦の上では春ですが、まだ寒く、「衣さらに着る月」から。

～節分の絵本～

おにはぞと！ふくはうち！

いもと ようこ／文・絵 金の星社

おふくの母さんがつぶやいてしまった願い事を鬼が簡単に叶えてしまった。その代償におふくは鬼に連れていかれることに……。その時、母さんが持たせてくれたのは菜の花の種。春になり菜の花の道案内でおふくは無事に逃げ帰る。母さんは、おふくを取り返しに来た鬼にいり豆を与えて、その花が咲いたらむかえに来いと追い返す。鬼はいり豆を畑に植えて毎日水やりに精を出す。芽など出るはずもないのに。ちょっと気の毒な鬼の話。

鬼が出てくることわざ・慣用句

鬼が出るか蛇が出るか

鬼の目にも涙

鬼の居ぬ間に洗濯

疑心暗鬼を生ず

鬼の霍乱

渡る世間に鬼はない

鬼の首を取ったよう

来年のことを言うと鬼が笑う

百鬼夜行

鬼に金棒

心を鬼にする

鬼の念仏 (鬼の空念仏)

鬼も十八番茶も出花

鬼にこぶを取られる

鬼に衣

鬼は外、福は内

鬼を酔にして食う



みなさんはどれくらい知っていましたか？

鬼といえば、頭に角がある姿が有名だけど姿を見せないものや幽霊、不思議な力を持つものを表すこともありますよ。



「写真で読み解く ことわざ大辞典」

813シ

「写真で読み解く 四文字熟語大辞典」

813シ など

大内中学校図書館にありますので、興味のある人は是非意味や使い方を知ってください。

新刊案内

- ・知っているようで知らない物価のしくみ
- ・バスケ語辞典
- ・電気の疑問 66
- ・盲導犬との絆、静かな感動
- ・女子野球の未来を創る

いまでできることを全力で

- ・ジョイフルジョブ！美容師仁の道
- ・ザ！バレーボールあるある
- ・バスケットボールIQドリル
- ・八秒で飛べ 坪田侑也
- ・アンドロメダの涙 天川栄人
- ・セントエルモの光 天川栄人
- ・森と、母と、わたしの一週間 八束澄子
- ・京都ものがたりの道
- ・一冊で読む日本の現代詩 200

2月22日はにゃん・にゃん・にゃんで猫の日です。分類番号 645 にはたくさんのネコに関する本（かわいい動物に関する本があります！）チェックしてみてください！

**本を借りたら返却する！を守って
読書を楽しみましょう！**

